

科目名	公害防止管理者Ⅰ			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	公害防止管理者水質第4種取得に向け、「公害総論」「水質総論」を学び知識を修得する。テキストの読み合わせと、ポイントの説明								
到達目標	公害防止管理者水質第4種「公害総論」「水質概論」の科目合格								
授業の方法	テキストを使った講義と、小テスト(主に過去問題集)による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、国家試験の合否、各小テストおよび出席状況を総合的に判断(筆記試験：80%・出席：20%)して評価する。								
授業計画	(公害総論) 1. 環境問題の概要 2. 環境基本法と環境関連法 3. 環境基本法の解説 4. 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律の解説 5. 最近の環境問題 6. 各種環境管理手法に関すること 7. 国際協力 8. 法規編(環境基本法) 9. 法規編(環境基準) 10. 法規編(特定工場における公害組織の整備に関する法律) 11. 過去問題演習 12. 過去問題演習 : 15. 過去問題演習				(水質概論) 1. 水質汚濁防止対策のための法規制の仕組み 2. 水質汚濁防止法の解説 3. 水質汚濁の現状 4. 水質汚濁の影響 5. 国又は地方公共団体の水質汚濁防止対策 6. 法規編 7. 過去問題演習				
使用教材等	新・公害防止の技術と法規(公害概論・水質概論) 公害防止管理者等国家試験 「正解とヒント」				(一社)産業環境管理協会				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	廃棄物管理			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	産業廃棄物の知識や法律、それを取り巻く状況等を学び、産業廃棄物に対する意識向上を図る。								
到達目標	特別産業廃棄物管理者								
授業の方法	主として、テキストを使った講義。公害総論と同時に学ぶ。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の可否、出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最終責任は排出業者にあり 2. 産業廃棄物って何だ 3. 産業廃棄物はどう処理されているか 4. これが適正処理の流れだ 5. 知っておきたい「産業廃棄物処理」の事情 6. 不法投棄はなぜ起こる 7. 知っておきたい「法律・条例」早わかり 								
使用教材等	産業廃棄物処理がわかる本 (株)ジェネス								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	環境マネジメント初級(ISO)			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	企業をはじめとしたあらゆる組織が今後とも活動を持続的に継続していくために、環境問題への取り組みを強力的に進めていく必要がある。ISOについては学ぶことが少なく、何のために必要かを理解させる。方針を定め、内部監査等で継続的改善を行いながら、顧客満足を図るためのシステムについて学習する。								
到達目標	ISO 14001：2015 環境マネジメント内部監査員								
授業の方法	主として、テキストを使った講義(読み合わせ)。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、内部監査員講習受講、出席状況を総合的に判断(筆記試験：80%・出席：20%)して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ISO 14001を知るための20のQ & A 2. ISO 14001って何だろう 3. ISO 14001ってどんな規格だろう 4. 企業や団体はどう対応したらよいか 								
使用教材等	やさしいISO14001 環境マネジメントシステム入門				日本規格協会 吉田 敬史 著				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	エネルギー管理基礎			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の推進に向けて、環境に対する幅広い知識を身につけたecoピープルを育成する。								
到達目標	東京商工会議所主催 eco検定試験合格及びecoピープル								
授業の方法	主として、テキストを使った講義。公害総論及び水質概論と並行して学ぶ。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の合否、出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な社会に向けて 2. 地球を知る 3. 環境問題を知る 4. 持続可能な社会に向けたアプローチ 5. 各主体の役割・活動 6. エコピープルへのメッセージ 								
使用教材等	(環境社会検定試験)eco検定 公式テキスト 東京商工会議所編著 検定(公式)過去・模擬問題集 東京商工会議所編著								eco
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	公害防止管理者Ⅱ			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース オフィスビジネスコース			履修時間	120		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	1年時より引き続き公害防止管理者資格取得に向けた講義(公害概論・水質総論)								
到達目標	公害防止管理者水質4種資格取得、科目合格								
授業の方法	主として、テキストを使った講義(読み合わせ及びポイント説明)。過去問題や教員の作成した模擬テスト。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の可否、出席状況を総合的に判断(筆記試験：60%・国家試験合否：20%・出席：20%)して評価する。								
授業計画	(公害総論) 1. 環境問題の概要 2. 環境基本法と環境関連法 3. 環境基本法の解説 4. 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律の解説 5. 最近の環境問題 6. 各種環境管理手法に関すること 7. 国際協力 8. 法規編(環境基本法) 9. 法規編(環境基準) 10. 法規編(特定工場における公害組織の整備に関する法律) 11. 過去問題演習 12. 過去問題演習 : 15. 過去問題演習				(水質概論) 1. 水質汚濁防止対策のための法規制の仕組み 2. 水質汚濁防止法の解説 3. 水質汚濁の現状 4. 水質汚濁の影響 5. 国又は地方公共団体の水質汚濁防止対策 6. 法規編 7. 過去問題演習				
使用教材等	新・公害防止の技術と法規 公害総論・水質概論 (一社)産業環境管理協会								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	環境マネジメント中級			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有														
対象学年	2年	対象コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース オフィスビジネスコース			履修時間	30																
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者																						
学修内容	環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の推進に向けて、環境に対する幅広い知識を身につけたecoピープルを育成する。環境に対する幅広い知識習得のため、公害防止管理者(公害総論)の知識を習得する。																						
到達目標	東京商工会議所主催のeso検定試験合格。公害防止管理者水質関係																						
授業の方法	主として、テキストを使った講義。過去問や模擬テスト等を併用する。公害総論と併せて学ぶ。																						
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の可否、出席状況を総合的に判断（筆記試験：60％・資格取得：20％・出席：20％）して評価する。																						
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 持続可能な社会に向けて</td> <td>I. 環境問題の概要</td> </tr> <tr> <td>2. 地球を知る</td> <td>II. 環境基本法と環境関連法</td> </tr> <tr> <td>3. 環境問題を知る</td> <td>III. 環境基本法の開設</td> </tr> <tr> <td>4. 持続可能な社会に向けたアプローチ</td> <td>IV. 特定工場における公害防止組織</td> </tr> <tr> <td>5. 各主体の役割・活動</td> <td>V. 最近の環境問題</td> </tr> <tr> <td>6. エコピープルへのメッセージ</td> <td>VI. 各種環境手法に関すること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>VII. 国際橋梁力</td> </tr> </table>									1. 持続可能な社会に向けて	I. 環境問題の概要	2. 地球を知る	II. 環境基本法と環境関連法	3. 環境問題を知る	III. 環境基本法の開設	4. 持続可能な社会に向けたアプローチ	IV. 特定工場における公害防止組織	5. 各主体の役割・活動	V. 最近の環境問題	6. エコピープルへのメッセージ	VI. 各種環境手法に関すること		VII. 国際橋梁力
1. 持続可能な社会に向けて	I. 環境問題の概要																						
2. 地球を知る	II. 環境基本法と環境関連法																						
3. 環境問題を知る	III. 環境基本法の開設																						
4. 持続可能な社会に向けたアプローチ	IV. 特定工場における公害防止組織																						
5. 各主体の役割・活動	V. 最近の環境問題																						
6. エコピープルへのメッセージ	VI. 各種環境手法に関すること																						
	VII. 国際橋梁力																						
使用教材等	eco検定公式テキスト 東京商工会議所 編著、公害総論 (一社)産業環境管理協会 編集																						
履修上の留意点・他	特になし																						

科目名	環境マネジメント上級			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース オフィスビジネスコース			履修時間	30		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の推進に向けて、環境に対する幅広い知識を身につけたecoピープルを育成する。								
到達目標	東京商工会議所主催のeso検定試験合格。								
授業の方法	主として、テキストを使った講義。過去問や模擬テスト等を併用する。公害総論と併せて学ぶ。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の合否、出席状況を総合的に判断（筆記試験：60％・資格取得：20％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な社会に向けて 2. 地球を知る 3. 環境問題を知る 4. 持続可能な社会に向けたアプローチ 5. 各主体の役割・活動 6. エコピープルへのメッセージ 								
使用教材等	eco検定公式テキスト 東京商工会議所 編著								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	公害防止管理者Ⅲ			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境マネジメントコース			履修時間	180		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	公害防止管理者国家試験異に向け、公害総論・水質概論・汚水処理特論のまとめ								
到達目標	公害防止管理者水質第4種資格取得								
授業の方法	主として、テキストを使った講義。今までの小テスト(過去問題等)の正解や不正解に基づき各ポイントを集中的に講義。計算問題について集中講義								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の合否、出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	(公害総論) 1. 環境問題の概要 2. 環境基本法と環境関連法 3. 環境基本法の解説 4. 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 5. 最近の環境問題 6. 各種環境管理手法に関すること 7. 国際協力 8. 法規編(環境基本法) 9. 法規編(環境基準) 10. 法規編(特定工場における公害組織の整備に関する法律) 11. 過去問題演習 12. 過去問題演習 : 15. 過去問題演習			(水質概論) Ⅱ.1 水質汚濁防止法のための法規制の仕組み Ⅱ.2 水質汚濁防止法の解説 Ⅱ.3 水質汚濁の現状 Ⅱ.4 水質汚濁と発生源 Ⅱ.5 水質汚濁機構 Ⅱ.6 水質汚濁の影響 Ⅱ.7 国又は地方公共団体の水質汚濁機構 法規編 過去問題演習			(汚水処理特論) 1. 汚水等処理計画 2. 物理化学処理法 3. 生物処理法 4. 汚水処理装置の維持管理 5. 水質汚濁物質の測定技術 6. 計測機器 過去問題演習		
使用教材等	新・公害防止の技術と法規(公害総論、水質概論、汚水処理特論) (一社)産業環境管理協会								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	卒業研究			担当教員	加 和朗	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース オフィスビジネスコース			履修時間	90		
実務経験	製糖工場 工場長 公害防止統括者 公害防止主任管理者								
学修内容	2年生各自がテーマを決め、テーマに基づいて論文を作成し、発表する。								
到達目標	卒業前の発表会								
授業の方法	各自、テーマに基づいて、文献やインターネット等を活用し、論文をまとめていく。各テーマについて、論文の作成状況を確認し、また、指導や助言を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、資格取得の可否、出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. テーマの選定 2. テーマを選択した理由 3. テーマの概要を調査 4. まとめ 5. 提出 6. 説明用試料の作成8(パワーポインター) 7. 発表会(全教員・全学生) 質疑応答.								8.
使用教材等	各文献・新公害防止の技術と法規・eco検定公式テキスト・インターネット等								
履修上の留意点・他	特になし								